



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階  
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

## 2014 - 2015 年度テーマ

R.I. テーマ 「ロータリーに輝きを」

R.I. 会長 ゲイリー C.K. ホアン  
地区ガバナー 鈴木 孝 雄

クラブテーマ 「全員参加で楽しく」

クラブ会長 尾 泉 良 和



## 本日の卓話

「炉辺報告」

## 今後の卓話予定

11/25 移動例会 (IM・パレスホテル東京)

2014年11月19日

第1385回例会

会長 尾 泉 良 和  
幹事 潮 田 幸 一

## 前回 (11/12 1384 回例会) の記録

### 来 訪 者 紹 介

◆ゲスト 1名  
◆ビジター 3名

東京荒川R.C. 木崎 重安 様  
東京恵比寿R.C. 川中 清昭 様  
東京浅草R.C. 加納世志郎 様  
東京北R.C. 近藤 保彦 様

### 出 席 報 告

総会員数	休 会	出席免除	出 席	欠 席	出席率	修正出席率
46名	2名	4名	34名	7名	82.93%	1382回例会修正 欠席2名・出席率95.12%

## 会長報告 <尾泉会長>

・11月はロータリー財団月間なので、地区財団委員の木崎重安様に「ロータリー財団あれこれ」という卓話をしていただきます。

我がクラブも次年度地区補助金の申請をしていますし、今後奉仕活動をする際に補助金の活用も考慮した方が良いと思うので、参考になるお話がきけるものと思います。

## 幹事報告 <伊石幹事代理>

・豊島東R.C.より例会臨時変更のお知らせが

届いております。クラブ事務所にてご確認下さい。

## 委員会報告

### <ロータリー情報委員会 海内委員長>

・炉辺会談の論点をまとめましたので、配布しました。ここで若干の説明をさせていただきます。注目すべき点は4点で議論して下さい。既に終了したグループの方も、これを参考にもう一度考えて下さい。

### <ロータリー財団委員会 宮村副委員長>

・昨日、山尾次年度会長と共に、神田如水会

館にて地区ロータリー財団セミナーに参加し勉強してまいりました。内容は、(1)ロータリー財団の概要 (2) 補助金に関する件 (3) ロータリー財団への寄付について (4) ポリオ・プラスに関する件 (5) ロータリー平和フェローシップに関する件、の5件ですが詳細は時間の関係上省略いたしますが、特に大事なことは、年次基金は本年度より一人150ドルの寄付、ポリオエ

ンドプラン基金が5・6億ドル不足していますので一人でも多く寄付をお願い致しますとのことです。

11月29日(土) 東京東江戸川ロータリークラブ主催で「ポリオのない世界を」との題で、江戸川区小岩にあります愛国学園記念講堂にて公開講座を開催されますので参加のほど宜しくお願い致します。

<親睦活動委員会 上野委員長>

・12月17に行われますクリスマス家族会の

ご案内をポケットに入れましたので、奥様宛に同様のご案内状を発送します。皆様、ご家族一同で、是非ご参加下さい。

<ゴルフ同好会 浜中会員>

・11月6日に行われました、3クラブ対抗戦において、お陰様で当クラブが優勝して、個人戦において、ゴルフ会会長の田村氏が優勝しました。更にバスグロも、当クラブの太田氏が79ストロークで取りました。

---

## 第5回理事・役員会報告

<審議事項>

1. 10月度会計報告……………承認

<協議事項>

1. 復興支援視察旅行について……………

3/中旬~4/末頃に延期して実施予定。

土曜~日曜の1泊で検討。

2. 創立30周年記念事業について……………

2015/11/4に開催。

---

## ニコニコボックス

<東京荒川R.C. 木崎重安様>

・本日卓話をさせていただきます東京荒川R.C.の木崎と申します。地区財団委員として一年目の未熟者ではありますが、精一杯務めさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

<尾泉会長、伊石幹事代理>

・本日の卓話「ロータリー財団あれこれ」地区財団委員の木崎重安様、どうぞ宜しくお願い致します。

<原田、小林(雅)、藤掛、宮村>

・本日の卓話「ロータリー財団あれこれ」地区ロータリー財団委員 木崎重安様宜しくお願いします。

<後上、斎藤、太田、中村>

・東北復興支援継続を!!

<藤田、小池>

・日中戦略的互惠関係に期待!!

<長月会 吉田>

・先日の長月会、大勢の皆様にご参加いただきありがとうございます。

<田村>

・3クラブ合同ゴルフ会でハンディに恵まれて優勝してしまいました。普段の行いの良さだと感謝しております。

<天笠>

・本日、お陰様で当社40周年の祝賀会を行います。ビューホテル様、よろしくお願い申し上げます。

<古谷、小林>

・アマガサ創立40周年おめでとうございます。今後ますますのご発展を祈念します。

<立野、尾泉>

・結婚記念日に花束を戴きまして誠に有難うございました。

<Fグループ炉辺参加者一同>

・炉辺の会費の残金をニコニコ致します。

## ロータリー財団あれこれ



地区財団委員 東京荒川ロータリークラブ

木 崎 重 安 様

## プロフィール

住 所：東京都荒川区荒川6-31-1

生年月日：昭和27年12月24日 61歳

家 族：両親と妻の四大家族

職 業：祖父の代から損害保険の営業をし、現在3代目として東京海上日動の代理店  
木崎保険事務所の所長

ロータリー歴：

2000年1月 東京荒川ロータリークラブ入会 現在14年目

2006年—2007年 幹事

2008年—2009年 幹事（2回目）

2014年—2015年 地区財団委員

## 1. ロータリー財団とは

①歴史 **1917年**アトランタ国際大会にて**アーチC. クランフ**（国際ロータリー会長）がロータリー財団の創設を提案し、同大会で採択された。「ロータリーが基金をつくり、全世界的な規模で、慈善、教育、その他社会奉仕の分野で、何か良いことをしようではないか」と提案した。最初の年の寄付は**26ドル50セント**から始まった（ミズーリ州カンザスシティRCから）。6年たっても基金の残高はやっと**700ドル**だった。現在では、ロータリー財団の基金は総額**30億ドル**以上（日本円にして**3000億円**以上）になっており、**2011-2012年度**の1年間の寄付だけで、**1億8千万ドル**を上回るようになった。

米国でもっとも信頼されている非営利団体の格付け機関（チャリティーナビゲーター）から**7年連続**して四つ星の最高評価を今年度も得た。ロータリー財団は、財務管理能力とアカウンタビリティ（説明責任）と透明性が高く評価されている。

## ②現在の財団プログラム

ロータリー財団の使命は、ロータリアンが**健康状態**を改善し、**教育**への支援を高め、**貧困**を救済ことを通じて、**世界理解**、**親善**、**平和**を達成できるようにすること。

未来の夢計画 2013-2014年度から全世界で実施（2580地区はパイロット地区として  
2010-2011年度から実施）下記の3本柱

イ) **補助金**（地区補助金、グローバル補助金、各々奨学金を含む）

ロ) **ロータリー平和フェローシップ** ハ) **ポリオプラス**

## ③財団の資金源 - ロータリアンの寄付（浄財）

年次基金 2580地区では、一人当たり年**150ドル**が目標 昨年度一人当たり**135ドル**  
認証ポイントを使ってポールハリスフェロー認証の獲得もお勧め  
3年後、元本のみが

50%がWF(国際財団活動資金)へ

50%がDDF(地区財団活動資金)へ 地区に50% フィードバックされる

恒久基金 翌年運用収益のみWF, DDFに還元される

その他寄付

## 2. 地区補助金

地区補助金支援基準に該当すれば、40万円を限度に総費用の80%が支給される

2580地区の地区補助金申請受領状況

2010年度 10件 2011年度 6件 2012年度 8件 2013年度 4件 2014年度 20件

2014年度 28件申請中

2014年度 今回初めて地区補助金を申請したクラブ 9件

いまだ申請したことがないクラブ 16件

その他 45件

## 3. ポリオのない世界の実現へーポリオプラスー

ポリオ(脊髄性小児まひ)とは、ポリオウイルスによって発症するウイルス感染症。身体麻痺の後遺症をもたらし、時として命さえ奪う伝染病。

プラスとは、はしか、ジフテリア、破傷風、百日咳、結核の5つの病気を指す。ポリオだけではなく、これらの病気も含め予防接種も実施することとなり、ポリオ・プラス計画と改称された。

①1960年(昭和35年)日本でポリオが大流行した。日本政府は冷戦真っ最中のソ連から1300万人の生ワクチンを超法規的に緊急輸入し、ワクチンの全国一斉投与によって1960年の6500人から1963年には100人以下となり、大成功を収めた。それ以後1980年以後日本ではポリオの発症が見られず、WHO(世界保健機関)に対しポリオ根絶を報告した。この日本の一斉投与のやり方が後にWHOによるポリオ根絶の世界戦略として採用された。(財団NEWS2014年10号)

②ポリオ撲滅運動において忘れてはいけない日本人が2名いる。2580地区の東京麹町RCの会員であった山田ツネ氏と峰英二氏である。このお二人がポリオ撲滅の必要性を認識して1978年から独自の活動を始め、1982-1983東京麹町RCで南インド・ポリオ免疫プロジェクトを立ち上げ、ワクチン投与活動で大活躍をした。その後1985年にワクチン投与活動はロータリー財団の特別プログラムとして組み込まれ、今日に至っている。まさに日本人の二人がロータリーの活動の先鞭をつけたわけで、1988年に山田ツネ氏はインドの風土病が原因で命を落とし、峰英二氏もその翌年に同様の運命をたどって他界した。日本人のロータリアンとして忘れてはならないエピソードである。(ガバナー月信 2510地区 2010-2011ガバナー 佐々木正丞氏)

③2013年6月25日国際ロータリー(会長 田中作次)とビル・アンド・メリンダ・ゲイツ財団は、ポリオの撲滅活動を支援するパートナーシップを発表した。今後5年間ロータリーがポリオ撲滅に寄せる寄付に対して、ゲイツ財団が2倍の額を上乗せすると言うものである。これにより最高総額5億2500万ドル(525億円)の資金を確保できる可能性があり、達成間近にあるポリオ撲滅活動に大きな後押しになることが期待される(ロータリージャパンより)

④ポリオの現状 症例数(財団室NEWS2014年10月号)

2014年1月1日~9月16日

常在国 パキスタン 145 アフガニスタン 8 ナイジェリア 6

常在国以外 赤道ギニア 5 イラク 2 カメルーン 5 シリア 1 エチオピア 1 ソマリア 5  
ケニア 0

世界合計 178 (2013年通年 416)

⑤2580地区でのポリオプラスの寄付目標 1クラブ 1500ドル